

事業番号	09 04 43	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場技術指導費			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	<a href="mailto:enchiku@pref.nagano.lg.jp">enchiku@pref.nagano.lg.jp</a>	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	S56 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、養殖魚生産者及び漁業協同組合関係者に技術指導を行い、養殖業においては「安全・安心な魚づくり」の普及を、河川湖沼漁業においては水産資源の増殖及び環境保全を目指す。また、長野県諏訪地方の特産物である天然角寒天について原料及び製品の分析等を行い安定生産を図る。							
現状(予算編成時)	<p>○養殖業においては、ウイルス性疾病や細菌性疾病などの魚病被害がみられる。</p> <p>○河川湖沼漁業においては、外来魚や魚食性鳥類による水産資源の減耗がみられる。また、種苗放流だけに頼らない増殖方法の普及が求められている。</p> <p>○寒天生産においては、原料である海藻の産地の違いにより製品の品質が異なる。</p>							
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 水産業発展のためには専門的な知識を有する研究員による技術指導が必要である。					県民との協働による実施：実施は困難	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)							
	養殖業、河川湖沼漁業、寒天製造業に対して技術指導を行って、県内水産業へ貢献する。 ・技術指導回数 1,000件(養殖業者200件、河川湖沼漁協30漁協、寒天業者20業者の計250件へ年間4回指導を目安)							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)		(予算案)
		養殖漁業指導	直接	・魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導 ・養魚場巡回指導 ・養魚技術講習会の開催	3,087	3,076	3,076	
	河川湖沼漁業指導	直接	・外来魚対策など水産環境保全指導 ・増殖手法の普及や漁場管理の指導 ・漁場管理講習会の開催	872	868	868		
	寒天製造技術指導	直接	・製造期の巡回指導 ・原藻の性状分析 ・製品等の依頼分析	650	641	641		
	合計			4,609	4,585	4,585		
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案		
	予算額	前年度繰越						
		当初予算	4,527	4,609	4,585	4,585		
		補正予算						
		合計(A)	4,527	4,609	4,585	4,585		
	Aの財源	一般財源	901	983	959	959		
		県債						
		国庫支出金	1,275	1,275	1,275	1,275		
		その他	2,351	2,351	2,351	2,351		
	ト	決算額(B)	4,486					
概算人件費	職員数(人)	4.60	4.60	4.60	4.60			
	概算人件費(C)	37,987	37,987	37,987	37,987			
	概算事業費(B(A)+C)	42,473	42,596	42,572	42,572			
指摘事項等への対応		(指摘事項等)			(対応)			
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善								
要求からの主な変更点		要求どおり						

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末(見込)	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
技術指導回数	1,463件	1,000件	1,000件			